

荒川沖小の地域自慢



木造校舎は昭和31年に建設され、昭和32年に初の卒業式に使用されて以来、体育館が完成するまでの間、講堂のように使われてきました。入学・卒業式はもちろん、様々な行事に多目的な使われ方をしてきましたので、地域の方々にとっても、思い出の多い建物です。

現在でも様々な学習活動や作品展、児童クラブ、バザーなどのPTAの諸活動に使用されています。また、本校舎から体育館への通路としての役割も果たしています。

